

令和3年度第2回津市地域公共交通活性化協議会に係る書面決議  
の結果について（報告）

令和3年度第2回津市地域公共交通活性化協議会に係る書面決議の結果は下  
記のとおりでした。

記

1 議題

(1) 承認事項

- ・ 津市コミュニティバスの運行変更について

(2) 報告事項

- ・ 委員の交代について
- ・ 第2次津市地域公共交通網形成計画に掲げる事業の進捗状況について

2 承認事項の結果

全会一致により原案どおり可決とする。

3 意見等

別紙のとおり

令和3年9月7日  
津市地域公共交通活性化協議会  
会長 松本 幸正

各議題に対していただいた意見等について

議題	意見等	事務局回答
1 委員の交代について	会社のご都合でこの度委員の変化がありますが、ご本人さまの成果は大切に保存して下さるようご要請します。	任期途中で、交代された委員の皆様につきましては、本市の公共交通の維持・確保について、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。
2 津市コミュニティバスの運行変更について	湯の瀬への利用以外にどれだけのニーズがあるのか疑問はあるが、やむえないと判断します。	湯の瀬への利用以外のニーズは少ないかもしれませんが、周辺住民の利用についても配慮し榊原口停留所を追加する形で変更をいたします。
	コロナ対策及び緊急事態宣言等による外出控え等が今後も続くと考えたと全体の見直し(路線)が必要と思われる。	令和3年4月1日付けで再編した津市コミュニティバスについては、現在新たな路線での利用状況の把握を行っており、利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けております。路線やダイヤを含めた運行の見直しについては、利用状況に基づく評価指標を設定の上、検討していきます。
	事前の周知をしっかりと願います。	当該休止停留所及びバス車内への周知チラシの貼付等により対応いたします。
3 第2次津市地域公共交通網形成計画に掲げる事業の進捗状況について	資料3-2コロナ禍における公共交通運行事業者のご努力をお察しいたします。P1、津なぎさまちセントレア航路については、対前年比9.1%と大変厳しい状況かとおもわれますが、運行事業者はどのように判断されていますか。	運航事業者は、国、県、市等からの支援を受けながら、事業を継続していますが、今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況及び中部国際空港のフライト状況等を踏まえた上で、運航継続していくことを確認しております。
	令和3年度におきましても、新型コロナウイルス感染症による影響が非常に大きく、「日々の利用状況と社会の動向」に注視しつつ今後の事業計画の検討を行っております。方向性が決まっていれば、ご連絡いたしますのでよろしくお願いいたします。	地域公共交通網の維持・確保に向け、引き続き運行主体間での連携した対応に努めます。
	資料3-3の利用状況については、コロナによる変化が大きいと思われる。随時見直しが必要ではないかと思料される。	令和3年4月1日付けで再編した津市コミュニティバスについては、現在新たな路線での利用状況の把握を行っており、利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けております。路線やダイヤを含めた運行の見直しについては、利用状況に基づく評価指標を設定の上、検討していきます。
	関係者と協力して、取り組みの実施・目標達成を目指して頑張ってください。	取組の実施・目標の達成に向け、今後もさらに関係者と協力・連携してまいります。
	地域住民運営主体型コミュニティ交通の実績が乏しいが、原因等について聞き取りし、改善の余地があるのかどうか検討する必要がある。	利用実績のない二俣地区については、現在、事業内容の変更等について当該自治会と協議しております。他の地区につきましても、利用需要に応じた運行となるよう適宜自治会等と協議していきます。
	今はイベントを開くことは難しいがコミュニティバスを使ったイベントetcについても検討してはどうか。	一昨年末では、小学生を対象とした一般路線バスやコミュニティバスの乗車体験のイベントを実施していましたが、現状では開催が難しいため、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、今後の取組について検討いたします。
	事業3-1における令和2年度取組状況について、津なぎさまちに係る取組みは、事業1-4に関しての取組みではないでしょうか。あるいは、待合環境等の整備という意味合いであれば、事業4-1に関する取組みではないでしょうか。	ご指摘いただきありがとうございます。当該記載については、事業4-1に記載すべきところの誤りです。
	事業5-1における令和2年度取組状況と、令和3年度以降の方向性において、津市ではない自治体地域の取組みを評価理由として盛り込むことは、適当ではないと考えます。	三重交通株式会社に運用いただいておりますバスロケーションシステムは、津市域内において既に導入済みであり、事業としては完了しております。ご指摘いただきましたとおり、同社において取組んでいただいている導入エリアの拡大については、他自治体に係る部分ですが、本サービスの利便性の向上という観点から資料への記載をさせていただきました。今後、当該事業を評価する際には、ご指摘の件について留意させていただきます。
美杉で始まったデマンド型交通について移動手段を持たない人のために将来にわたり継続していけるよう必要な支援・指導が必要だと思う。	当該事業への支援については、まず地域便りによる広報という形でご協力をさせていただきました。今後は、運営協議会とともに、利用状況や課題等を把握しながら事業継続に必要な支援を検討いたします。	
事業7-1における白山高校によるPRIについて、高校単独の取組みとして終えるのではなく、市の取組みに取り込んで大いに活用していただきたい。例：専用HPを作成する際、PR動画やポスターをリンクでなく、専用HP上で掲載できるよう高校側と交渉する。市内公共施設や商業施設等において、上記PR媒体の上映・掲示ができるよう働き掛ける。また、活性化PRの実施には関係者の理解・協力が欠かせず、これまで以上に松阪市及びJR東海との連携にご努力していただきたい。	ポスターについては、白山高校及びJR東海と連携し、津駅、松阪駅への掲示を実施しています。ご提案をいただきました現在作成中のHPでの掲載についても、実施に向け調整するとともに、その他効果的な活用手段についても検討いたします。	